

ニヌファブシ

vol. **9**
2007.8

首里城下町クリニック^{第一}_{第二}・那覇西クリニック・那覇西クリニックまかび
共同発行情報誌

はじめに

太陽がサンサン降り注ぐ夏真っ只中、皆様いかがお過ごしでしょうか？この暑さで夏バテしている方も多いかと思いますが、夏と言えはいろいろな行事があるので一年の中でも楽しみが多い時期ではないでしょうか？そんな中「ニヌファブシ第9号」が完成致しました。

本誌は、首里城下町クリニック(旧田名内科クリニック)・那覇西クリニック・那覇西クリニックまかびが共同制作をしており、より患者さんとのコミュニケーションをはかろうと取り組んでいます。

また、多くの方々に読んで頂きたいので気軽に手に取って皆様のなんらかの情報収集になり、お役に立てればいなど同時に「ニヌファブシ」の由来どおり、暗い夜空をキラキラ照らすように一人ひとりが輝き明るい日々を過ごせたらという気持ちを込めてこちらをお送りしています。

那覇西クリニックトピックス

病院レク



毎年恒例の病院レク・ボーリング大会が4月21日にサラダボールで行われました。

多くの職員や家族が参加し、チーム対抗で豪華景品を賭けて競い合いました。その後、沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハで結果発表とお疲れ様会が行われ、おいしい



料理を頂いたり、カラオケを楽しんで日頃の疲れを癒すことが出来ました。

那覇西クリニック開院11周年パーティー

お陰様で那覇西クリニックは、今年11周年を迎えることが出来ました。去る5月26日にハーバービューホテルにて11周年記念パーティーが開かれました。昨年に続き、今年勤続10年を迎える勤務功労者の表彰などが行われ、和やかなパーティーになりました。



患者勉強会・懇親会

去る6月24日に都ホテルにて患者勉強会・懇親会が行われました。参加人数は約170名余りで会場がいっぱいになりました。今回は、「乳癌最新治療」「やさしい放射線治療」「食事・運動療法のコツ」のテーマの講演があり、多くの方が熱心に耳を傾けていました。懇親会では、各部署で作成したパンフレットを手に質問を受けるなど、患者さんや職員、また患者さん同士が交流を深めていました。



どうぞよろしく!

新しいメンバーが
仲間入りしました♥



診療放射線技師 佐治敬子

那覇西クリニックに入職して半年になります。覚える事が沢山あり学び多き日々をおくってます。患者さん、スタッフに信頼される技師を目指して頑張ります。



看護師 川満一恵

1月から勤めています。まだまだ分からない事ばかりで勉強中ですが、周りのスタッフの方に支えられています。これからも楽しく頑張っていこうと思います。



看護師 湯浅純子

4月から入職しました。初めての事も多く、ご迷惑をおかけすると思いますが、一生懸命がんばります。ご指導よろしくお願ひします。



臨床検査技師 田中麻梨沙

那覇西クリニックに来て早いことに7ヶ月経つのですが、まだまだ勉強する事がいっぱいです。皆さん、これからもよろしくお願ひします。

★みんなの広場★

外来の患者さんからの作品を募集しています。
今後も続けていきますので、よろしくお願ひします。



梅雨開けて
町の選挙で
セミの声
家中
暑くデパート
妻の供

里帰り
親も子供も
川あそび
つゆあくむ
道と子供は
セミ取りに
宮城正さん

那覇西クリニックの源河さんが
「レキオ」に紹介されました!

那覇西クリニックの診療放射線技師、源河留美さんが琉球新報のタブロイド誌「週刊レキオ」「メディカル新世代」に紹介されました。技師としての源河さんの仕事や、乳がん検診の大切さなどについて語られています。

週刊レキオ 2007 7.5 No.1162 LEQUIO

良質画像をドクターへ届ける

源河留美さん

48ページ拡大版

琉球新報 発行/週刊レキオ社

〒900-0001 那覇市南2-16-1 那覇西クリニックビル
TEL:098(65)5231 FAX:098(65)1205
http://www.lequio.jp Email: info@lequio.jp

「那覇西クリニック理事長の一日」



7月になり、那覇市の乳がん検診が始まった。今年4月新聞がこぞって玉城信光 沖縄県参与に就任などと書きたてたものだ。検診のために患者さんと呼ぶ。「宮城さん、3番に入ってください。」そっとドアを開けて患者さんが入ってきた。「先生、いたー！」「先生はいないかと思ったよ」

“那覇西クリニックまかび”で診療しているのだ。まだまだ、診療をやめることはできないのだ。小禄や糸満の患者さんまで診療に来てくれる。大変ありがたいことである。2時間程待たせてしまった患者さんもいた。スタッフも皆遅くまで残ってもらった。さすがの玉城も少し疲れたようである。

幸いなことにその日は会議が入っていない。いつもは医師会の会議で7時半から9時過ぎまで束縛されている。家に帰って食事をするのが10時頃である。生活習慣が悪いこと限りない。遅い食事と6時起床ではやせるヒマがないのである。医師会の会議は県民の皆さんにはなじみがないだろうが、大切なこと議論し実行しているのである。

例えば、あなた方のお父さんが脳出血で倒れたとする。救急病院に運ばれるが、1~2週間すると病気が落ち着いてきてリハビリが必要になる。うまく治らなかった場合介護のお世話になる。どのような介護が必要なのか連携はどうしたらうまくできるようなになるのか。

病院や介護で看護婦さんが足りない。どのようにして育成していくのか。産婦人科の医師が足りない。助産師が足りない。どうする？救急で医師が大変疲れている。どうしたらいいか。どのようにしたら医療事故を減らすことができるのか。同じ過ちをくり返さない為にはどうしたら良いのか。などなど、たくさんの問題を解決するため



那覇西クリニック
理事長 玉城 信光

に努力しているのである。

「医師会に入って何のメリットがありますか」と質問する人がいるが、メリットがあって医師会活動をするのではない。皆のために何ができるのか考えながらほとんどボランティアである。

忙しいその日は当直であった。那覇西クリニックに戻って入院の患者さんをみた。手術日であるが幸いに患者さんは皆落ち着いている。今日は早寝するぞと10時から寝てしまった。すぐ眠れることが私の健康の秘訣かもしれない。

次の日、40名近い診療を終えて急いで県庁に行った。午後1時から5時まで県庁で会議である。食事時間は10分である。

私も含めて沖縄県には肥満者が多い。沖縄の長寿を復活させる為にはどのような対策を実行した方がよいのか。北部・中部・南部・宮古・八重山とも病院の数や地域の特性があるので実情にあった対策を考えなければならない。栄養指導はどうするのか、看護師の立場ではどうする。来年につくられる沖縄県の医療計画を考える会議である。夜は7時30分から那覇市医師会の会議である。

このような日々を送りながら理事長は楽しんでいるのである。いろんな政策が見えるようになりそうだ。沖縄に最先端の医療を持ってこようという会議にも顔を出している。沖縄をアジアの玄関口にしようと考えているのである。実現したらすごいことである。

乳がんの診療も怠りなくやっています。「先生、体を壊さないでよ」皆さんのお言葉を大切に健康を管理しています。私の健康をしっかり管理する女性がわが家にいますのでご心配なく。

